

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 2 月 23 日 (2006.2.23)

【公開番号】特開 2002-328843 (P2002-328843A)
 【公開日】平成 14 年 11 月 15 日 (2002.11.15)
 【出願番号】特願 2001-135500 (P2001-135500)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 12/14 (2006.01)

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 12/14 3 2 0 A

G 0 6 F 12/00 5 3 7 M

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 1 月 6 日 (2006.1.6)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】発明の名称
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【発明の名称】情報管理システム、および記録媒体
 【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 コンテンツの出力を指示するための操作が行なわれる操作手段と、
 前記操作に対する コンテンツの出力セキュリティ情報を記録する記録手段と、
 前記記録手段のセキュリティ情報に基づいて コンテンツを出力装置へ出力するかどうか
 の判定を行なう判定手段とを備えることを特徴とする 情報管理システム。

【請求項 2】 コンテンツの登録、管理、閲覧が可能な 情報管理システムであって、
コンテンツ毎に対応づけられ コンテンツ毎に異なる出力形態毎のセキュリティ情報が記
 録された記録手段と、

選択された コンテンツに対して選択指示された出力形態が前記セキュリティ情報に基づ
 いて当該出力形態でもって出力可能か否かを判定する判定手段と、

前記判定手段の結果に基づいて選択された コンテンツを所要する出力形態でもって出力
 する出力手段とを備えたことを特徴とする 情報管理システム。

【請求項 3】 前記記録手段は、複数設けられた特定の出力形態個々に対応した コン
 テンツのセキュリティ情報も記録されていると共に、前記判定手段は、その特定の出力形
 態個々に対応した コンテンツのセキュリティ情報に基づいて出力可能か否かの判定をも行
 なうことを特徴とする請求項 1 または 2 記載の 情報管理システム。

【請求項 4】 前記記録手段は、コンテンツ情報の各項目毎に設定された出力可否情
 報とフォーマット名とを対応付けた出力フォーマット情報も記録されると共に、前記特定
 の出力形態個々に所望する該フォーマット名をも記録されてなり、選択された コンテ
 ンツを特定の出力形態でもって出力する際に、設定されたフォーマット名と設定された出力フ
 ォーマット情報とに基づいて コンテンツ情報が選択的に出力可能とするフィルタ手段を有
 したことを特徴とする請求項 3 記載の 情報管理システム。

【請求項 5】 プリンタ装置を複数有し、前記特定の出力形態が、該プリンタで出力

される印刷であることを特徴とする請求項 3 または 4 記載の 情報管理システム。

【請求項 6】 コンテンツの出力を指示するための操作が行なわれる操作手段と、

前記操作に対する コンテンツの出力セキュリティ情報を記録する記録手段と、

前記記録手段のセキュリティ情報に基づいて コンテンツを出力装置へ出力するかどうかの判定を行なう判定手段とを備えてなり、コンピュータを前記操作手段と前記記録手段と前記判定手段として機能させるためのプログラムを記録した記録媒体。

【請求項 7】 コンテンツの登録、管理、閲覧が可能な 情報管理システムを制御する記録媒体であって、

コンテンツ毎に対応づけられ コンテンツ毎に異なる出力形態毎のセキュリティ情報を記録する記録手段と、

選択された コンテンツに対して選択指示された出力形態が前記セキュリティ情報に基づいて当該出力形態でもって出力可能か否かを判定する判定手段と、

前記判定手段の結果に基づいて選択された コンテンツを所要する出力形態でもって出力する出力手段とを備えてなり、コンピュータを前記記録手段と前記判定手段と前記出力手段として機能させるためのプログラムを記録した記録媒体。

【請求項 8】 前記記録手段は、複数設けられた特定の出力形態個々に対応した コンテンツのセキュリティ情報も記録すると共に、前記判定手段は、その特定の出力形態個々に対応した コンテンツのセキュリティ情報に基づいて出力可能か否かの判定をも行なう処理を有したことを特徴とする請求項 6 または 7 記載の記録媒体。

【請求項 9】 前記記録手段は、コンテンツ情報の各項目毎に設定された出力可否情報とフォーマット名とを対応付けた出力フォーマット情報も記録すると共に、前記特定の出力形態個々に所望する該フォーマット名をも記録し、選択された コンテンツを特定の出力形態でもって出力する際に、設定されたフォーマット名と設定された出力フォーマット情報とに基づいて コンテンツ情報が選択的に出力可能とするフィルタ手段を有したことを特徴とする請求項 8 記載の記録媒体。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

【課題を解決するための手段】

上記課題を達成するため、請求項 1 の発明は、コンテンツの出力を指示するための操作が行なわれる操作手段と、前記操作に対する コンテンツの出力セキュリティ情報を記録する記録手段と、前記記録手段のセキュリティ情報に基づいて コンテンツを出力装置へ出力するかどうかの判定を行なう判定手段とを備えることを特徴とする 情報管理システムにある。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

請求項 2 の発明は、コンテンツの登録、管理、閲覧が可能な 情報管理システムであって、コンテンツ毎に対応づけられ コンテンツ毎に異なる出力形態毎のセキュリティ情報が記録された記録手段と、選択された コンテンツに対して選択指示された出力形態が前記セキュリティ情報に基づいて当該出力形態でもって出力可能か否かを判定する判定手段と、前記判定手段の結果に基づいて選択された コンテンツを所要する出力形態でもって出力する出力手段とを備えたことを特徴とする 情報管理システムにある。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

請求項3の発明は、請求項1または2において、前記記録手段は、複数設けられた特定の出力形態個々に対応したコンテンツのセキュリティ情報も記録されていると共に、前記判定手段は、その特定の出力形態個々に対応したコンテンツのセキュリティ情報に基づいて出力可能か否かの判定をも行なうことを特徴とする情報管理システムにある。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

請求項4の発明は、請求項3において、前記記録手段は、コンテンツ情報の各項目毎に設定された出力可否情報とフォーマット名とを対応付けた出力フォーマット情報も記録されると共に、前記特定の出力形態個々に所望する該フォーマット名をも記録されてなり、選択されたコンテンツを特定の出力形態でもって出力する際に、設定されたフォーマット名と設定された出力フォーマット情報とに基づいてコンテンツ情報が選択的に出力可能とするフィルタ手段を有したことを特徴とする情報管理システムにある。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

請求項5の発明は、請求項3または4において、プリンタ装置を複数有し、前記特定の出力形態が、該プリンタで出力される印刷であることを特徴とする情報管理システムにある。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

請求項6の発明は、コンテンツの出力を指示するための操作が行なわれる操作手段と、前記操作に対するコンテンツの出力セキュリティ情報を記録する記録手段と、前記記録手段のセキュリティ情報に基づいてコンテンツを出力装置へ出力するかどうかの判定を行なう判定手段とを備えてなり、コンピュータを前記操作手段と前記記録手段と前記判定手段として機能させるためのプログラムを記録した記録媒体にある。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

請求項7の発明は、コンテンツの登録、管理、閲覧が可能な情報管理システムを制御する記録媒体であって、コンテンツ毎に対応づけられコンテンツ毎に異なる出力形態毎のセキュリティ情報を記録する記録手段と、選択されたコンテンツに対して選択指示された出

力形態が前記セキュリティ情報に基づいて当該出力形態でもって出力可能か否かを判定する判定手段と、前記判定手段の結果に基づいて選択されたコンテンツを所要する出力形態でもって出力する出力手段とを備えてなり、コンピュータを前記記録手段と前記判定手段と前記出力手段として機能させるためのプログラムを記録した記録媒体にある。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

請求項8の発明は、請求項6または7において、前記記録手段は、複数設けられた特定の出力形態個々に対応したコンテンツのセキュリティ情報も記録すると共に、前記判定手段は、その特定の出力形態個々に対応したコンテンツのセキュリティ情報に基づいて出力可能か否かの判定をも行なう処理を有したことを特徴とする記録媒体にある。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

請求項9の発明は、請求項8において、前記記録手段は、コンテンツ情報の各項目毎に設定された出力可否情報とフォーマット名とを対応付けた出力フォーマット情報も記録すると共に、前記特定の出力形態個々に所望する該フォーマット名をも記録し、選択されたコンテンツを特定の出力形態でもって出力する際に、設定されたフォーマット名と設定された出力フォーマット情報とに基づいてコンテンツ情報が選択的に出力可能とするフィルタ手段を有したことを特徴とする記録媒体にある。